

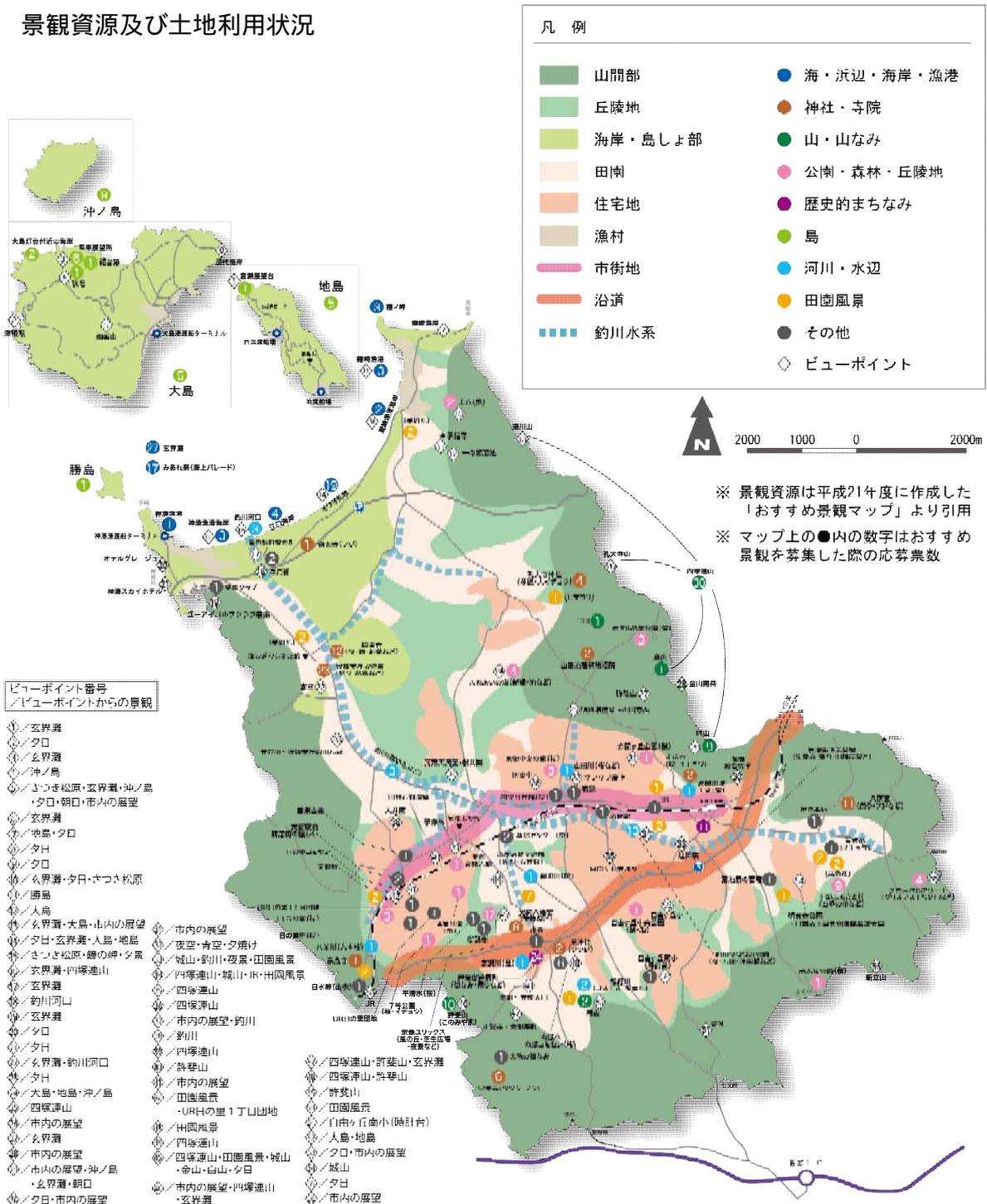
第2章 宗像市の景観特性と課題

1. 本市の景観特性

(1) 景観資源

本市は、北側の海岸部、山々に囲まれた内陸部の2つの要素から構成されており、景観特性もその2つに大きく分けられます。海岸部には、大島、地島などの島々、玄界灘を臨む海岸線が広がっており、自然や海の眺望を中心とした景観が形成されています。内陸部には、山間部の内側に丘陵地、田園地帯、住宅地、市を横断する幹線道路沿いに市街地が広がっており、生活の営みを感じられる市の骨格となる多様な景観が形成されています。

景観資源及び土地利用状況



四塚連山をはじめとした山々の景観

市の周囲には、四塚連山をはじめとした山々が連なり、市を代表するランドマークになっていることに加え、市内を見下ろすビューポイントも数多く存在します。

山間部や丘陵地には、ホタルの里公園や正助ふるさと村、グローバルアリーナなどの市民が自然と触れ合える公園・緑地が整備されており、自然景観を構成する特徴的な要素となっています。

さらに丘陵地は、市街地や平野部から海辺・島しょ部や山間部へとゆるやかにつながり役割も担っており、市全域の景観につながりを生み出しています。



日の里コミセンから望む四塚連山

玄界灘と島々の景観

市の北側には、玄界灘が広がり、内陸部とは景観要素が異なり、海を中心とした自然景観が広がっています。

玄界灘に面した海岸線やさつき松原、大島、地島などの島しょ部の景観は、市の代表的な景観要素です。海を見渡す眺望や夕日、水と緑のコントラストなど、絵になる景観が広がっています。

大島は、玄界灘に浮かぶ福岡県下最大の島です。津和瀬や大島灯台、風車など海岸部を中心とした景観要素に加え、宗像大社中津宮や沖津宮遙拝所など歴史的要素も存在しており、自然と歴史が息づく景観が広がっています。

地島には、つばきロードや倉瀬灯台など、景観要素がいくつも存在する風光明媚な景観が広がっています。



大島御獄山展望台から望む玄界灘



大島砲台跡からの眺望

釣川水系とその周辺の田園景観

市の中央には、海岸部と内陸部を結ぶ形で釣川水系が貫流しており、平野部に広がる水田や麦畑とともに、山間部や丘陵地とつながった景観をつくりだしています。このような田園景観は、季節ごとに色合いが異なり、同じ場所であっても多様な姿を見せます。

また、菜の花やひまわり、彼岸花など、田園とその周辺には季節によって様々な花が咲き、景観にさらなる彩りを加えています。



麦秋の赤間平野



多礼橋付近の釣川

緑に囲まれゆとりのある計画的住宅地の景観

本市には、福岡市と北九州市のベッドタウンとして、市街化区域に広範囲にわたって計画的に造成された住宅団地が広がっています。日の里や自由ヶ丘などの大規模住宅団地をはじめ、JR 鹿児島本線から南北に閑静な住宅地が広がっており、その中には地区計画を定めて、建物の形態や色、用途など景観形成に関わるルールづくりを行っている地域もあります。

また、市街化区域縁辺部に位置する公園通りでは建築協定が結ばれ、景観に配慮した魅力的な住宅地が形成されています。

さらに、住宅地内には自由ヶ丘中央公園など、緑豊かな公園も整備されており、市民の憩いの場として、重要な景観要素となっています。



日の里大通り



公園通り

「海の道」の発着地点である漁村集落の景観

神湊、鐘崎、大島、地島には漁港が整備され、その周辺に漁村集落が広がっています。漁村集落は、海と共に育まれてきた生活や生業が根付いた景観であり、内陸部の集落とは異なる海辺の特徴的な景観要素です。

神湊や大島の渡船ターミナルは、「海の道」の発着地点であり、海から見た眺望も大切な景観要素です。



鐘崎漁港の夕暮れ

「海の道」とは・・・神湊と大島を結ぶフェリー航路及び、宗像から大島、沖ノ島を經由して朝鮮半島に至る古代海路（海北道中）のこと

沿道に広がる市街地の景観

本市を横断する国道3号及び旧国道3号の沿道には、店舗や屋外広告物が数多く立地しています。

市街地は、旧国道3号を軸に赤間駅周辺を中心として東西に長く広がっており、JR3駅周辺は本市の拠点としての役割を担っています。

国道3号沿道には、ロードサイド型をはじめとした商業施設が立地しており、商業中心の都市景観が広がっています。



赤間駅北口



国道3号の夕景

宗像大社をはじめとした歴史遺産・文化遺産の景観

本市には、海の正倉院と呼ばれる沖ノ島や宗像大社(沖津宮、中津宮、辺津宮、沖津宮遙拝所)をはじめ、神社仏閣、遺跡が各地域に点在しており、様々な時代の歴史、文化が息づいています。

さらに、みあれ祭や田熊山笠など、その地域に根付いた伝統的な祭りが現存し、景観の重要な構成要素となっています。加えて、住宅団地や施設・公園で開催される祭りやイベントも景観に彩りを添えています。



宗像大社辺津宮



鎮国寺境内



田熊山笠



みあれ祭(海上神幸)



平等寺瀬戸遺跡

旧唐津街道がつなく歴史的景観

市の南部には、旧唐津街道が横断しています。街道沿いに昔ながらの建築物が残る赤間宿や原町は、景観まちづくりを行う上で拠点となる場所です。

赤間宿は、筑前21宿の一つとして栄えた宿場町です。勝屋酒造をはじめ昔ながらの佇まいを残した建物が現存しています。

原町は、街なみの修景に取り組んでおり、歴史的な街なみ景観が保全されています。また、街道沿いで行われる九州大道芸まつりなどのイベントも、大切な景観要素となっています。



原町での九州大道芸まつり

